

午後1時、健民祭がスタート。

小学生たちは、またまた体操着に着替え直し。こちらは4つの地域に分かれての対戦になる。青が『石橋チーム』、紫が『江之浦チーム』、黄色が『米神チーム』、赤が『根府川チーム』となっている。応援席には、各チームの色の応援旗がはためいていた。黄色の『米神チーム』は、ここ10年連勝している強豪だ。ユニフォームも黄色でそろえていて、さすがの結束力。

こちらは、小田原市の市民体操『おだわら百彩』で準備体操。1種目め『綱引き』は前方に子どもが並び、後方では力自慢のお父さんたちが頑張る。2種目め『ドリブルリレー』は片手にバトン、片手にドリブル。意外に皆さん速い。3種目め『なわとび』は子どもたちが大縄跳びを跳ぶ。なかなか難しく、1回でも飛べれば大成功。4種目め『？（はてな）ひろい』は

小学校に上がる前の子どもたちが、おもちゃをもらえる競技。5種目め『樽ころがし』は上下の底の大きさが違う小さな樽を2本の棒を使って転がし、リレー方式で競い合う、昔から続いている競技。とても難しそうだが、皆さん毎年転がしているだけあり、観客席スレスレを猛スピードで駆け抜ける。



猛スピードで、観客席もスリル満点！



気合い充分！赤の根府川チームの勝ち。



とにかく1回！大成功！



観客席の応援に応える、余裕の米神チーム。



好きなおもちゃを選んで、ゴール。



出番が終わり、おじいちゃん、おばあちゃんの活躍を見守る小学生。

6種目め『玉入れ』は前半が小学生、後半が老人会。合計の得点で競う。老人会の皆さんは玉をまとめて投げるなど、テクニクがすばらしい。7種目め『むかで競走』は男性グループ、女性グループ、中学生グループのリレー方式。石橋の男性グループがものすごい追い上げを見せたが、さすがの米神チーム、他チームに1周差を付けて余裕のゴール。8種目め『みんなでフォークダンス』は残念ながら時間の都合で省略。9種目め『人生リレー』は、保育園児↓小学生↓中学生↓20代↓30代↓40代↓50代とバトンをつなぐリレー。まさに人生。最後の種目ということもあり、健民祭一番の盛り上がりを見せた。

総合順位は1位米神（23点）、2位根府川（19点）、3位石橋（15点）、4位江之浦（13点）となり、終わってみると、今年も米神チームの連勝記録が更新される結果となった。「この合同行事は、児童たちや保護者の方と地域の方をつなげる、とても大切な行事になっています」。片浦小学校の沖津校長は言う。「人が少なくなっていた片浦地区ですが、片浦小学校が小規模特認校となったことで子どもたちの数が増えました。そして、中学生になった卒業生たちは健民祭の方に参加してくれます。母校に顔を出す、良いきっかけにもなっていると思います。」

来年の健民祭では、きっと今年6年生だった児童たちが活躍することだろう。



片浦小学校に赴任されて3年目の沖津校長先生。



片浦地区健民祭を主催する、片浦連合自治会長の松本さん。米神地区の自治会長でもある。

